



2014年3月
29日～30日の
2日間、栃木県の

ツインリンクもてぎで行われたスーパー耐久シリーズ2014第1戦「もてぎスーパー耐久」に、NAPAC会員7社（エイチ・ピー・アイ、エムケーカシヤマ、エンドレスアドバンス、小倉クラッチ、PIAA、ブリッド、ワーク）及び事務局がブース出展しました。

スーパー耐久シリーズは国内最高峰の“参加型レース”と言われるカテゴリーで、モータースポーツの中でも根強い人気を誇るレースです。今シーズンは第1戦のもてぎスーパー耐久を皮切りに、国内で全6戦が行われる予定です。

当振興会では、今季もスーパー耐久シリーズを支援するとともに、各レースへのブース出展を積極的に推進しております。

NAPAC会員7社の展示ブースは、ツインリンクもてぎのメインスタンド裏の専用スペースに設置されました。決勝が行われた3月30日は生憎の天候となりましたが、モータースポーツ＆カーカスタマイズに関心を持つ一般ユーザーに向けて、最新のカスタム＆アップグレードパーツを精力的にアピールしました。またNAPAC事務局ブースを第一パドックに設置し、スーパー耐久の他、併催されたガズレーシング86/BRZレースに参戦したNAPAC会員社の情報交換の場としても活用されました。

なお、今回はS耐シリーズ第2戦「SUGO スーパー耐久 3時間レース」（5月24日～25日）にブース出展する予定です。



①エイチ・ピー・アイ、②エムケーカシヤマ（ウインマックス）、③エンドレスアドバンス、④小倉クラッチ、⑤PIAA、⑥ブリッド、⑦ワーク、⑧NAPAC事務局